

会 議 録 (概要)

会議の名称	令和5年度 第2回佐渡市デジタル化推進検討懇談会
開催日時	令和5年10月25日(水) 10:00~12:00
場所	佐渡市役所3階 大会議室
会議内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 座長あいさつ</li> <li>3 議事 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) デジタル技術活用の取組事例について(ご報告)</li> <li>2) デジタル活用実行計画のたたき台の作成について</li> <li>3) 懇談会の取組テーマについて(デジタル祭り?)</li> <li>4) その他</li> </ol> </li> <li>4 副座長あいさつ</li> <li>5 閉会</li> </ol>
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	<p>«デジタル化推進検討懇談委員»(8名)</p> <p>«市役所»(5名)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐渡市総務部長 中川 宏</li> <li>佐渡市総務部総務課デジタル政策主幹 中川 裕</li> <li>総務課デジタル政策室長 椎 俊介</li> <li>総務課デジタル政策室デジタル推進係調査員 桃原 里沙</li> <li>総務課デジタル政策室デジタル推進係主事 長谷川 博也</li> </ul>
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	なし

会議の概要（発言の要旨）

発言者	議題・発言・結果等
座長	<p>1 開会 2 座長あいさつ</p> <p>昨年度に「デジタル活用構想」を策定し、今年度は構想に基づいて具体的な計画を作っていく段階である。</p> <p>のちほど説明があるかと思うが、なかなか難しいこともあって思うように進んでいないところもある。</p> <p>ただ、構想が「絵に描いた餅」に終わるのではなく、実際に佐渡市のDXを推進していくきっかけになるためには具体的な取組をどのように蓄積していくのかと同時に、色々な人の関心を高めながら、どのようにして地域の方々を巻き込んでいくのかということが大切なことと思う。</p> <p>そういう観点で、本日の話し合いの中でも、そういった参加の輪を広げていくためのきっかけづくりの在り方についてもご意見をいただきたいと思っている。</p> <p>構想がきちんと魂が入ったものとして動いていくように、皆さんから活発な議論をお願いする。</p>
椎室長	<p>3 議事</p> <p>1) デジタル技術活用の取組事例について（ご報告）</p> <p>① 「書かない窓口」を導入（アジェンダP.5について説明）</p>
桃原調査員	<p>運用の整理が非常に重要になってくると思っている。</p> <p>職員のマインドの部分だけではなく、例えば、受け付けした書類の添付書類など、市が受け付けて交付等は国・県が行うような業務について、機関間のやりとりが書面しか対応していないケースもあり、「デジタルで受け付けたものはデジタルで完結できるように」といった働きかけについては、庁内はもちろんだが、国・県の取組についても佐渡市発信で進めていけたらと考えている。</p>
座長 A委員	<p>この件について、ご意見・ご質問等あるか。</p> <p>今の説明では、職員の方が入れ代わり立ち代わりで対応するとのことだが、職員の負担は稼働については現在よりは増えるという認識か。</p> <p>業務を見直す中で職員の方も業務の効率化や稼働削減を同じく目指せる形がよいと思う。</p>
椎室長	<p>継続性ということを考えて、その要素がないと辛いのではないか。</p> <p>国も「誰一人取り残さないデジタル化」を推進しており、デジタル化を進めるとはいえこれまでの書面手続きも継続されるので職員の負担が減るということはないが、今回の新庁舎のオープンに伴って窓口課が集約されたので、職員の稼働負担は緩和されると思っている。</p> <p>この取組はまだまだゴールではなく、次のステップでは、例えば「お悔やみ窓口」のような、ライフイベントごとの拡張なども考えていかなければならないことである。</p> <p>現時点での負担感については危惧しているところである。</p>
中川部長	<p>お客様が移動するのではなく、職員が入れ代わり立ち代わり対応する形はこれまでも行っているため、そのあたりの負担感はないと考える。</p> <p>その部分は今までどおりである。</p>
B委員	<p>お年寄りの方や入所者など、窓口へ来ることが困難な方のために第三者が申請行為をしようとする必要になるなどハードルが上がるが、これがシステムによって改善されることはあるのか。</p>

桃原調査員	その点については、今のところ検討ができていない。
B委員	例えば、委任状をWeb上に公開し、自宅で記載いただき持参いただくということであれば、何度も市役所へ来ていただく必要がなくなることは考えられる。
椎室長	第三者が委任状を持参できればよいのかなと思う。 ヘルパーの方がご自宅でご本人と話をしながら入力をしてフィードバックできると楽になるのかなと思う。 「書かない」かつ「往復不要」である。
座長	委任状については全庁で取り扱うものであるが、正直なところ運用のための議論ができていない。 オンライン申請時にも委任状は必要な時があるが、その運用について整備がされていない。 請求書なども含め、全庁的に共通なものの取り扱いについて考える必要がある。 他に質問等なければ次へ移る。
椎室長	② 行政手続のオンライン化を拡大（アジェンダP.6について説明）
C委員 椎室長	何件くらいの申請があったのか。 今現在では2件に留まっている。 10月1日より開始しているが、LINE連携を開始してすぐに2件の申請があった。 他の自治体を見てもなかなか苦慮しているようで、ピンポイントで実施するイベント申込などには多くの利用があるようだが、主だった行政手続きの申請件数はどこも伸びていないようである。
A委員	周知方法については広報紙やHPなど色々あるかと思うが、窓口申請に来られた方にも「電子申請できます」と周知しているのか。
椎室長	まだそこまで取り組んでいない。 市公式LINEの「お友達になりましょう」という周知は、各窓口を通じてステッカーやQRコードで取り組んでいる。
A委員 椎室長	今年度中に目標値等が設定されているということはあるのか。 設定しているKPIは「公開手続数」であり、今年度中に1,000手続を公開することとしている。 申請件数に関するKPIを設定していないのが現状であるが、稼働状況を見るとそちらの観点も必要であると感じているし、A委員のおっしゃるように各々の窓口で「電子申請できますよ」という周知は必要である。
座長	佐渡市において周知をするとすると、どういう方法がよいのか。 ニーズはたくさんあるはずなので、あとはお知らせする方法を考えなければならない。
椎室長	LINEを使って、「これからこういうお手続が始まりますので、電子申請をご利用ください」という方法が一定の効果があると思っている。
座長	LINEを登録済みの市民はどのくらいいるのか。
桃原調査員	約68,000人である。
椎室長	リニューアル後、一気に800人増加したようである。
座長	市外の方も多いのか。
椎室長	市内の方が多いようである。 私たちからすると、市外の方が佐渡市の公式LINEのお友達になるということがあまりイメージできない。
座長	私の周囲の共同で色々なプロジェクトをやっている企業の方などは、佐渡市の情報を得るために登録しているようである。
中川主幹	受信設定において「市民」と「市民以外」の設定ができるので、そこを見れば市民の

副座長	<p>登録数はある程度把握できるはずである。</p> <p>今初めて見させていただいたが、今後、私がこれを東京で申請すれば郵送で対応いただけるということか。</p>
椎室長	<p>そのとおりである。</p>
副座長	<p>例えばPDFのような形式でいただいて、「印刷すれば住民票の代わりになりますよ」とはならないのか。</p>
椎室長	<p>社会がそこまで対応していないようである。</p> <p>処分通知等の交付についても、市長の電子署名を付加して電子交付できる仕組みにはなっているが、現時点では受理する側から書面での提出を求められるのではないかと思う。</p>
副座長	<p>結局はコンビニ交付サービスを利用しているが、原本と同じものが印刷されて出てくる訳である。</p> <p>オンライン申請がそれよりも使い勝手の良いものであればと期待したが、郵送いただけるだけでも楽かなという思いである。</p>
B委員	<p>職員からすると仕事が増えるのではないか。</p>
椎室長	<p>おっしゃるとおり、これまで来庁されていた近隣の方などがオンライン申請すると、すべて郵送で対応することとなる。</p>
副座長	<p>今まさに電子申請システムのトップ画面を開いて見ているところであるが、モニターに表示いただけるか。</p> <p>(「<a href="#">佐渡市電子申請システム</a>」のトップページをモニターに表示)</p>
副座長	<p>「手続き一覧」を見ると手続きがずらりと並んでおり、「次へ」のボタンを押さないと色々な手順を見ることができない。</p> <p>例えば、カテゴリ分けするようなことはできないのか。</p> <p>「キーワード検索」で具体的な手順名を思い浮かべる人はほとんどいないのではないかと思う。</p> <p>まず、どのような手順ができるのかということが一目見て分からないので、1ページ目を見ただけで諦める人が続出するのではないか。</p> <p>他の自治体と共同調達とのことであるが、共同調達ではカスタマイズはできないのか。</p>
長谷川主事	<p>カスタマイズは可能であるが、新潟県の運用の仕方を参考にしており、新潟県に共有方法を問い合わせたところ、「県や市町村の手続はカテゴリが多すぎるため、担当職員の方でカテゴリの分類を間違える恐れがあるため、新潟県においてはカテゴリ分けしていない」との回答であった。</p>
副座長	<p>意味の分からない理由である。</p> <p>カテゴリについては市役所の職員が最も理解しているはずであり、新潟県がそのように言っているとしても、佐渡市はカスタマイズが可能であれば対応していただきたい。</p> <p>恐らく、この仕様で目的の手続にたどり着くのは至難の業である。</p>
桃原調査員	<p>同じシステムを導入している埼玉県の事例を参照すると、カテゴリ分けがなされている。</p> <p>(「<a href="#">埼玉県電子申請・届出サービス</a>」の「<a href="#">分類別で探す</a>」のページをモニターに表示)</p>
副座長	<p>例えば、手順の多いものからきつかとして使用してもらおうときに、スポーツやイベントといったカテゴリ分けがあると探しやすいのではないか。</p> <p>埼玉県の事例と同じものを導入すればよいだけである。</p>

B委員	カテゴリ分けについても、どのような切り口にするのかを考えることは簡単ではない。
副座長	そのとおりである。 しかしそこは何とか対応していただき、もう少し分かりやすいものにしていただきたい。
椎室長	(佐渡市公式HPの <a href="#">「令和5年度の児童クラブ利用希望者を募集します」</a> のページをモニターに表示)
副座長	もう1点。 こちらのページは今年の4月より以前に公開されていたもので、電子申請の件数が200件以上あった手続である。
副座長	逆に言うと、ここまでしっかりとした導線を用意しなければならないと思っている。 イベントや会員募集のようなものは告知からリンクすることでよいと思うが、一般的な手続を自発的に探そうという時には、トップページからもう少し探しやすいようにしていただきたい。
椎室長	他の自治体ができているのであればできるはずである。 大きな課題であると理解している。 利用者目線で考えていきたい。
副座長	先ほどの「キーワード検索」であるが、あまりタイトな検索結果とならないように設定されているように思うので、そこから絞り込んでいけるような導線の確保をお願いしたい。
座長	埼玉県のページもものすごく見やすいという訳ではなく、改善の余地はあるように思う。
椎室長	ただ、何もしないよりはよいと思う。 やはり、それぞれのお手続の説明のページの中にオンライン申請へのリンクを設置していくことがよいのだと思う。
座長	それぞれのページに様式やフォーマットは掲載されているが、結局それをダウンロードして記載して書面で申請するような整理となっている。 そこからオンライン申請できるような整理をしなければならないと思っている。 それでは、次の項目へ移る。
椎室長	③ もっと便利に！佐渡市公式LINEリニューアル（アジェンダP.7について説明）
座長	先ほどのオンライン申請について、今度はLINEからも申請できるようになるのか。
椎室長	LINEのメニューから「行政手続き」をタップしていただくと、LINEのログイン情報で「佐渡市電子申請システム」にログインすることができる。
副座長	ピクトグラムで「生活情報が知りたい」「防災情報が知りたい」など分かれているが、そこから絞り込んだ状態のところリンクするということはできないのか。
中川主幹	ピクトグラムに配置しているリンクが必ずしも申請系ではないので、例えば、「市報・回覧板」や「ごみ」「道路破損通報」のページに遷移する。
副座長	おっしゃるとおり、LINEから手続を分けて遷移することはできる。 「行政手続き」をタップした後に、大雑把に分かれていて、そこから絞り込んだ結果ページにリンクを張るだけでずいぶん使い易くなるのではないかと思う。
C委員	オンライン申請について、手数料はどのように支払うのか。
椎室長	手数料は、クレジットカードとPayPayに対応しており、年明けからはD払いとauPAYにも対応する。
座長	他に質問等なければ次へ移る。

椎室長	④ 除雪運行管理システムの導入（アジェンダP.8について説明）
座長 B委員 椎室長	これまでFAXを使用していたということに驚きである。 夏場に何かに利用できないのか。 今年も暖冬と言われている。 降雪の時しか利用しないのはもったいない気はしている。
中川部長	補足する。 3箇年の計画ということで、300台近くの導入となる。 今年度は100台の導入ということで、新たな運用とこれまでどおりの運用が併用されるということで、すべて導入が完了するまでは2通りの運用となる。 実際に除雪機に搭載されると、GPSによる移動距離と時間が自動的に管理されることになるので、導入された業者はその分の管理が不要となる。
座長 椎室長	試験的にということではなく本格運用ということか。 そのとおりである。 導入が段階的ということである。
中川部長	瞬時にそのデータが市役所に飛んできて、一括して除雪状況のデータを皆さんにお届けできればよいが、そうではなくて、業者の方で出来上がったデータを確認して市の方へ送信する形のようなので、実際に除雪状況が皆さんに共有されるのはそんなに早い訳ではない。
B委員 中川部長	今どこが除雪されているのかがリアルタイムで分かる訳ではないと。 そのとおりである。 業者が今どこを除雪しているのかといった情報は、業者から市へデータが送信されるまでは分からない。
副座長	今回のシステムはそのようなパッケージであるのでどうしようもないと思うが、いずれはリアルタイムでGNSSロガーから直接通信回線を通じてクラウドにデータを上げ、リアルタイムで今どこを除雪しているのかが把握できるようになればよいと思う。
B委員	それが業者にフィードバックされ、除雪作業の進行が遅れているところに応援に向かわせるなどの指示ができるようになると効率的である。
副座長	とりあえず、今現在の仕組みをそのままデジタル化したということと思う。 それはそれで最初のステップとしてよいのではないか。
座長	携帯電話の電波が届かないエリアが多いと思うが、そういうインフラが整わないと今おっしゃられたようなことは実現できないのか。
副座長	そうかと思う。
座長	スマート農業などもそこがネックになっている。
副座長	佐渡市内はほとんど電波が届いているのではないか。 市内で届かないというのはどんなエリアがあるのか。
座長	佐渡一周線から少し上がったところの棚田などである。
B委員	谷間があったり入江に入ったりすると厳しいエリアがある。
座長	こういうものは動き始めると課題が見つかるものなので、改善しながら進められたらよいと思う。 よい形のトライアルと思うので、雪にたくさん降ってほしいと思う。 是非、稼働状況を見てみたいと思う。 それでは次へ移る。
椎室長	⑤ 自動運転実証調査事業の実施（アジェンダP.9～11について説明）
C委員	いつ頃から本格的に自動運転が始まるのか。

椎室長 A委員	<p>具体的には時期はまだ示されていないようである。</p> <p>今回の3週間の実証で得られるデータは具体的にはどのような中身なのか。乗車人数なのか、移動に要した時間なのか、バッテリーの持ち時間なのか。期間が短いのではと感じた。</p>
椎室長	<p>自動運転がレベル2というところでの運転手の操作による安全性の担保がいちばん大きいのかなと思う。</p> <p>詳細については資料の持ち合わせがない。</p>
A委員 椎室長	<p>1月という季節も厳しい時期と思う。</p> <p>おっしゃるとおり、走行ルートを踏まえると、佐渡でもっとも過酷な条件下での実証になる。</p>
中川部長 座長 副座長	<p>強風であったり積雪であったり、そういったデータを収集したいという思いもある。</p> <p>他にご質問等あるか。</p> <p>周知の徹底をお願いする。</p> <p>「ご乗車ください」ということだけでなく、最高速度が35km/hということであるが、他の地域の例では平均時速が15km/h以下であったり、安全最優先で走行しているので、区間によっては自転車より遅いということもあるようである。</p> <p>そういった時に、市民の方にネガティブなイメージを持たれないよう、「実証実験のため安全運転をしています」ということを最初に告知しておかないと、おかしなレッテルを貼られる恐れがある。</p> <p>その点のみ気になったところである。</p>
B委員 副座長	<p>間違いなく渋滞が起こる。</p> <p>後続車が抜くに抜けない箇所がたくさんあると思うので、きっとお叱りの声が挙がると思う。</p>
座長	<p>高校生に乗車してほしい。</p> <p>目的があって、もちろん今は色々な課題や問題もあるけど、佐渡の未来に向けてこういう実験をしているということを全校生徒へ周知し、そこから親世代やその上の世代へ伝えられるとよいと思う。</p> <p>授業として乗車できたらすごくよいと思う。</p> <p>「皆で楽しみながら実験をするんだ」という雰囲気を作っていくと、これに限らず技術の実証というものは失敗してなんぼというところがあるのが、地域の方はそういう見方はしていない。</p> <p>例えば、岡山県西粟倉村のリビングラボの方たちが除草ロボットを導入した時に、どれだけ効率的に除草できるのかということだけでなく、「テクトロジー」というキーワードを出して地域の人たちに、「もしかしたらどこかで転んでいるかもしれない。そんな時に皆さんがロボットを助けてあげるくらいの大らかさでテクノロジーとの共存を考えていきましょう」と伝えている。</p>
副座長	<p>そんな感じの技術の受け止め方が大切ではないかと思う。</p> <p>そうでないと実験すらできないし、何も生まれないということになってしまう。</p> <p>おっしゃるとおり、雰囲気をどのように作っていくのかというところに、もう少し対策を打つべきと思う。</p>
D委員 椎室長	<p>出発時間や終了時間が分からない。</p> <p>その点については、今詰めているところである。</p> <p>分かりしだいアナウンスされるようである。</p>
副座長	<p>資料を見た感じであるが、バスが非常にスリムでよいと思う。</p> <p>今のバスは大型だが、こういう小回りの利くバスが走ってくれるとすごくよい。</p>
座長	<p>夢がある。</p> <p>他にご意見等あるか。</p> <p>なければ次へ移る。</p>

椎室長	⑥ 市立小学校・中学校ホームページ寄贈プロジェクト
椎室長	<p>こちらについては、必ずしもデジタル技術の活用ということではないかもしれないが、市の施策を民間事業者が行うという優良事例である。</p> <p>今回は副座長よりこのプロジェクトを発案いただき、佐渡市にご提案いただいたという経緯もあるため、副座長より内容についてお知らせいただけたらと思う。</p>
副座長	(プロジェクト資料について説明)
副座長	<p>時間は要するかもしれないが、手挙げのあった小中学校から対応していきたい。</p> <p>何年も要すると思うが、市内に対しての情報発信の元のコンテンツの部分を質のよいデジタルコンテンツに作り直していきたいと考えている。</p>
D委員	<p>願ってもないことである。</p> <p>私も佐渡へ来て、本当に子どもたちのために思って役員等もしながら活動してきた。</p> <p>市や教育委員会を頼っても駄目だと思い、外部の地域の人たちで作るコミュニティでお金を稼ぎ、学校へも寄付し、色々な方々の特性を活かしながら頑張っている。</p> <p>私たちの取組もなかなか前へ進まないが、こういうために先生方との関係性を築いてきた背景もあるので、ご紹介いただいたプロジェクトについてもご一緒させていただけたらと思う。</p>
副座長	<p>そういう空気感を作っていきたいのである。</p> <p>先ほどの「⑤自動運転実証調査事業の実施」の際に座長からおっしゃっていただいたことであるが、「前進しないといけないよね」「頑張ろうよ」という空気感を市内で作っていくということがDXを浸透するために重要だと思っている。</p> <p>実際、内海府小中学校や松ヶ崎小中学校のように情報発信を頑張っていると、結構色々な子どもが集まってきているらしい。</p> <p>どんなによい学校で、コミュニティがあったとしても、結局それが情報発信できていないことによって、テクノロジーが進化してもコンテンツがなければどうしようもないので、そこを何とか作り上げていきたいと思っているのでよろしく願いしたい。</p>
B委員	<p>補足ではないが、当社はICT支援員を担っており、この仕事の内容は、何でもかんでも学校に関わっているコンピューター関連についてすべて面倒を見ることとされている。</p> <p>一例として、前々々任の先生が作ったWebサイトがあり、10何年も前の作成ソフトで制作されているが、今「ソフトの使い方を教えて欲しい」と言われても非常に困る。</p> <p>各学校で持っている作成ソフトのバージョンもバラバラであり、使い方を教えても、その先生が異動してしまうとまた後任の先生が「教えて欲しい」と、まるでイタチごっこである。</p> <p>今ほどご紹介いただいたような共通のプラットフォームが出来上がってくると、このような問題も解消されるのでたいへんありがたいと思う。</p> <p>サポート企業としてもお声がけいただければと思う。</p> <p>あとは各学校の特色というか、差をつけすぎてしまうと波風が立つので、そのようにならない工夫が必要かと思う。</p>
副座長	<p>現場からのヒアリングでは、各学校はどうしても特色を出したいとのことなので、私たちがテンプレートが最も楽であるがそういう訳にもいかず、1つ1つハンドメイドで作成することとなる。</p> <p>大変ではあるが。</p>
座長	<p>企業CSRというか、ごみ拾いをしたり植林したりということばかりでなく、自社の強</p>



	<p>みというか、それを活かして地域に貢献していくということは本当にすごいことだと思う。</p> <p>こういった動きをきっかけに広がりがあるとよいと思う。          サンタさんのクリスマスプレゼントのような嬉しいお話である。          それでは、最後の報告に移る。</p> <p>⑦ デジタルリーダーを新たに任命しました（アジェンダP.13について説明）</p> <p>この点について何かあるか。          リーダーの方々には手当はつくのか。          今、職員の人事評価制度というものがあって、その中で他の職員が行っていない取組に対して評価する項目があるので、そちらで評価することになる。          手当がどの程度つくのかということについては把握していない。          それがよいことなのか悪いことなのかは分からないが、リーダーという権限と責任が与えられた以上、毎月の給料が増えるということになれば、周囲からの見方も変わると思うし、本人たちの意識も変わると思う。          民間企業的には、リーダーとなると給料に上乘せするイメージである。          それはないのか。          今のところ手当についてはないものと思う。          ただし、そういった考え方は当然あるものと思う。          予算措置をして取組をサポートするようなことはあるのか。          今年度についてはスタートが遅れたということもあり、取組をサポートするような予算措置はない。          任期の更新は1年毎か。          今回任命した際の任期は年度末までである。          新年度以降については、本人たちの意向も踏まえて新たに任命することとなる。          ボーナスに限らず、リーダーの皆さんがやる気になるような環境を丁寧に、動きやすさややりがいを含めて考えていかなければならない必要があると思う。          おっしゃるとおり、前回の懇談会においても、E委員やB委員よりご意見があった部分かと思うので、リーダーのやる気やよいところを伸ばしていけるような雰囲気を作っていきたいと思う。</p> <p>座長          副座長          椎室長</p> <p>副座長</p> <p>椎室長</p> <p>A委員          椎室長</p> <p>座長          椎室長</p> <p>座長</p> <p>椎室長</p> <p>座長</p> <p>座長</p> <p>椎室長</p> <p>椎室長</p> <p>座長</p> <p>椎室長</p> <p>椎室長</p> <p>承知した。          それでは、取組の報告については以上ということで、かなり色々な取組について始まってきているということは皆さまにもご理解いただけたかと思うので、ここに挙がっていないようなデジタル技術活用の様々な市が絡んだ取組もるので、把握することも難しいくらい色々な事業がスタートしているかとは思いますが、情報共有しながらウォッチできればと思う。          次の議事へ移る。</p> <p>2) デジタル活用実行計画のたたき台の作成について          (アジェンダP.14～55について説明)</p> <p>こちらが本題であるが苦戦している。          当初はボトムアップというか、全庁的にヒアリングを実施した中で、総合計画に掲げている未来やデジタル活用構想のビジョンマップを見据えた施策・実行計画を作っていくような動きをしていたが、なかなか事業を所管する課からはそういった施策や実行計画を吸い上げることができず、ロードマップの作成ができていない状況である。</p>
--	---

<p>座長</p>	<p>お示しした資料は中川主幹から作成いただいたものであるが、各課が持つ実行計画を読み解いた中で作成しており、今後、デジタル政策室から各課へ素案として提示し議論を重ねていくというやり方に方向転換したいと考えている。</p> <p>昨年度は、皆さま方に「デジタルでできたらいいことのアイディア」から「デジタル活用で実現したい未来のイメージ」「施策（課題）」を考えていただいた。</p> <p>今年度については具体的な実行計画に落とし込んでいくという作業を行っていきたいが、まずは本日皆さまにお示しさせていただいた素案について庁内において議論したうえで、皆さまより市民目線や事業者目線といったところから協議いただければと思う。</p> <p>作業工程が遅れているということでたいへん申し訳なく思う。</p> <p>今後については、このような動きとさせていただきたい。</p> <p>この点について何かご質問等あるか。</p> <p>各課よりゼロからロードマップを作り上げていくということは思うように進まないため、素案という形で各課へ提示されるのだと思うが、ロードマップは今年度中にまとめる予定であったか。</p>
<p>椎室長 座長</p>	<p>今年度中にロードマップより詳細な実行計画を策定することが目標である。</p> <p>オンライン申請や「書かない窓口」など色々な取組がどんどん進まない、恐らく多くの方が実感を持って「こういうことを進めて行きたい」「こうなったらよい」ということが語れないのだと思う。</p> <p>今年度策定予定の計画については、まだそういった実感を伴う前のものになるので、定期的にレビューをしながらアップデートしていくということも仕組みの中に組み込んでおかないと、走っているうちに色々なアイディア等も生まれると思うので、そのあたりのレビューの仕組みも考えておくとういのかと思う。</p>
<p>椎室長</p>	<p>おっしゃるとおり、職員もどうしたらよいのか分からないし、何を考えたらよいのかも分からない状況だと思う。</p> <p>意見としてもそのような内容が多い。</p> <p>業務の中でデジタル技術の活用という実感が伴っていない部分は多分にあると思う。</p> <p>今は専門人材として中川主幹や桃原調査員より様々な専門的アドバイスやアイディアも出していただけるが、お2人がいなくなってしまうとそういったアドバイスも出せなくなってしまうというところは危惧しており、その点も含めて座長のおっしゃられたような仕組みを考えなければならないと思う。</p>
<p>座長</p>	<p>他にご意見等あるか。</p> <p>次回の懇談会までにはいくつかの基本目標についてたたき台がまとまっていると期待したい。</p> <p>各課との交渉が非常に大事だと思うので、よろしくお願ひしたい。</p> <p>もう1つ大切な議題がある。</p> <p>前回も少し話題として挙がっていたが、デジタル化を進めて行く中でのアウトプットや成果、或いは「今後こうなったらいいね」という可能性を可視化していくためにも、市民に対してこうしたDXの可能性が伝わるような場を作れたらということだったと思う。</p> <p>そこについて議論できたらと思うので、説明をお願いする。</p>
<p>椎室長</p>	<p>3) 懇談会の取組テーマについて (デジタル祭り?) (<a href="#">会津若松市の「AiCTデジタルまつり」</a>について参照)</p>
<p>座長 副座長</p>	<p>この点について何かご意見等あるか。</p> <p>素晴らしい取組であると思う。</p>

	<p>よく出来ていると思うのは、デジタルと関係のないコンテンツをミックスしているところだと思う。</p> <p>「野菜マルシェ」や「竹あかり」など、ただただDXだけであるとそこに興味のある人しか来ないので、そういったことに興味はないが何らかのインスタ映えするようなものと組み合わせ、本当に上手に組み立てていると思う。</p> <p>そこは模していくべきである。</p> <p>ただ、これは国の補助金等を活用して開催することは可能なのか。</p> <p>今のところ充当できるような国のお金が見当たらないところである。</p> <p>佐渡市の場合は、会津若松市のように年間に4回も開催するのではなく、まずは1回の開催を想定している。</p>
椎室長	
副座長	<p>やるならしっかりと開催した方がよいと思うが、自主財源であると色々と難しいのではと思う。</p>
座長	<p>協賛を募ることはできないか。</p> <p>佐渡はとてもイベントが多い。</p> <p>余地があるのかといこともあるが、また1つイベントが増えるとなると人を集めることが難しいとっていて、既存のイベントに抱き合わせていく方が現実的なのではないかと思う。</p> <p>例えば、「佐渡國鬼太鼓どっどこむ」や「さど食の陣」にくつついて開催するということも検討してよいのかなと思う。</p>
副座長 椎室長	<p>そこは座組が組みあがっているので難しいのではないか。</p> <p>他のイベントとの抱き合わせについては考えていきたい。</p> <p>庁内でも、様々なイベントがコロナ禍で中止となっていたので、コロナ明けということで再開されるイベントがあれば抱き合わせを考えたい。</p>
座長	<p>佐渡総合病院では「病院祭」を開催している。</p> <p>ああいうところで、医療のデジタル化を体験できるのもよいのではないか。</p>
B委員	<p>先日、おんでこドームにて「佐渡ビッグゲーム」が開催されたが、抱き合わせ方があまりよしくなかったように感じた。</p> <p>来場者のほとんどがフィッシングマニアであるが食にはほとんど興味がなく、参加者が釣りに出てしまうと会場は閑散としていた。</p> <p>抱き合わせ方も上手にしないと大変であると感じた。</p>
	<p>ちなみにこういうイベントについては私も大賛成で、よく展示会に行くと各メーカーさんが参考出品という販売前のものを出品するが、それを見たときに「これは昔私たちが諦めたテクノロジーだ」とか、当時は「無理」とされていたものが今何となくお目見えしてきたというところが見えると、ニーズの掘り起しというか、「昔諦めたものが、最近では出来るようになったのか」というものが再度インプットされるということもあるので、是非、佐渡市と関わりながら、メーカーさんに「是非無償でアピールしませんか」というような働きかけをすることも面白いと思う。</p>
椎室長	<p>せめて広告宣伝費くらいは盛っておいて、アピールの場に活用してもらおうとか、市内の企業同士や、市外からの進出企業との結びつきの場にもできたらと思う。</p>
B委員	<p>「困りごと」を見つけない訳である。</p> <p>現在の「困りごと」でもよいが、昔諦めた「困りごと」について、「今度は何とか出来そうだ」という、「困りごと」に対して手当てするという考えの基になっていくのかなと思う。</p>
副座長	<p>個人的な考えであるが、イベントは中途半端なものを数多く仕掛けるよりも、やるならしっかりとしたものをどーんと。</p> <p>テーマを見せてしっかりとやった方がよいと思う。</p> <p>予算との戦いになると思うが、DXに興味がある方は勝手に来るので、興味のない方にも広がりのあるようなものになるとよいと思う。</p>

桃原調査委員	<p>もしよろしければ委員の皆様のご意見を伺いたい。</p> <p>デジタルに興味はないけど、市内でイベントがあったらどんなイベントであれば行きたいと思うか。</p> <p>例えば、食べ物なのか、鬼太鼓なのか、そのあたりのアイデアをいただけたらと思う。</p>
副座長	<p><a href="#">先ほどのWebサイト</a>を表示いただきたいが、会津若松市さんが「竹あかり」をプログラムに入れているのは本当によく考えられていると思う。</p> <p>佐渡も竹は有名であるが、要は、その地域で見たことがないものを用意することが最も動員が図られる。</p> <p><a href="#">CHIKAKENというWebサイト</a>を参照していただきたいが、これを市民参加型で皆で作っている。</p>
D委員 副座長	<p>市内の中学校の文化祭でも開催した。</p> <p>ロウソクではなくデジタルアートとの組み合わせでもよいが、これを参加者が1本ずつ作るイベントをすると、こうして空間演出した時に参加者が皆見に来る。</p> <p>「鬼太鼓」が悪いのではないが、市民からすればいつも見ているものなので、突き抜けた何かを混ぜるとこれだけでもインスタ映えするので、普通に若者はやって来る。</p> <p>そういうものをうまく組み合わせて、ある意味会津若松市さんはすごく上手だと思う。</p>
D委員	<p>このイベントは色々なところで開催し、今は田上町の方でも開催したのではないかと思う。</p>
副座長 D委員 副座長	<p>そのとおりである。</p> <p>竹を斜めに切ることが難しかったが非常に楽しいイベントである。</p> <p>参加した人は皆見に来る。</p> <p>空間演出の中の1本は自分が作った訳である。</p> <p>参加しながら雰囲気づくりである。</p> <p>参加しながら、「デジタルも一緒に考えようよ」ということをしていくとよいのではないかと思っている。</p>
座長	<p>是非、佐渡島自然共生ラボの竹資源活用チームとコラボいただきたい。</p> <p>逆にデジタルの予算ではなく、移住交流系の予算や芸術祭系の予算であれば取れそうな気がする。</p>
副座長	<p>デジタルの予算を引っ張ってくる必要はないが、何か国の予算で上手に盛り込めてそこに乗っかっていくということがよいのかなと思う。</p> <p>やるのであれば徹底的に。</p> <p>イベントはとにかく巻き込むことが重要なので、巻き込むためのツールがイベントであって、そこで強制的に引き込むと。</p> <p>LINEの登録も行政手続もすべてそこから行ってもらうようにというようなパンチ力のあるものを開催した方がよい。</p>
座長 B委員	<p>他にご意見等あるか。</p> <p>「佐渡國鬼太鼓どっとこむ」は1チーム10名程度は来場する。</p> <p>要は、演者=参加者であるので盛り上がっているように見えるが、仲間内で盛り上がるにはよいと思う。</p>
座長	<p>これは来年度何かできたらよいということであるが、財源も引っ張ってくるとなると前々からある程度コンセプトも決まっていなくて難しいと思うので、来年度はどこを目指すのかということか。</p>
椎室長 副座長	<p>まずは「何かやってみよう」というところではある。</p> <p>まずは会津若松市のものを模してみるのがよいのではないか。</p> <p>いきなりアイドルまで呼ぶ必要はないかと思うが。</p>
座長	<p>来場者数は多いのか。</p>

中川主幹 副座長 中川主幹 副座長	<p>前は2,000名ほどのことである。 地域の中の人たちが来場しているイベントとしては相当な数字である。 市外からもアイドル目当てに来場する人はいるようである。 市外の人に向けて佐渡市のDXをPRすることが趣旨ではない。 市民向けである。</p>
座長	これについては随時、「こんなのどうですか」というものがあれば、デジタル政策室宛にお話しいただきたい。
D委員	例えば、何かのイベントに参加したらポイントが付与されるといって、皆さんポイント好きなのでこぞって来場されるのではないかと。 主婦目線である。
椎室長	「健幸ぽいんと」というようなものもあるので、来場者にはそういったものを付与することはよいと思う。
座長	時間も過ぎていたため、この議題についてはこれまでとする。 何かあればご意見をお寄せいただきたい。
	<p>4) その他 (次回日程について、令和6年1月第3~4週を目途に開催することとし、後日、調整アプリで決定することとして決定する)</p>
	<p>4 副座長あいさつ</p>
副座長	<p>委員の皆様、佐渡市の皆様、たいへんお疲れさまであった。 色々動き出しているということ、具体的な事例と共に聞きすることができて非常にワクワクしたし、有意義な時間であったと思っている。 完璧でなくてもまずは動き出してみよう、そのあとアジャストしていくということ、今後も色々な人が色々なことを言うてくると思うが、少しずつ進んでいただければと思う。 同時に、無理をしていただきたくないと思った。 プロジェクトが計画どおり進まないことがイコール悪だと思わないでいただきたい。 民間のプロジェクトでも計画どおり進まないことが当たり前である。 そうすると計画を修正する訳であるので、修正しながら、委員の皆様も含めてプロジェクトのメンバーが健康を害されて1人1人倒れていくということが最もよくないと思うので、DX化の速度は重要であるが、遅れる時は遅れるということ、少しずつ進めていけばよいと感じた。 最後に、本日は座長から気づきを1ついただいた。 「雰囲気づくり」をしていくことの大切さを私自身も感じたし、イベントを行うにしても、啓蒙活動をしていくにしても、そこを意識してやっていきたいと思う。 また1月に皆様とお会いできることを楽しみにしている。</p>
	<p>5 閉会</p>